

Ⅱ 展覧会

(1) 企画展 生誕 100 年 中村正義 その熱と渦	1
(2) 特集展 よみがえる絵画 修復された川村清雄、藤田嗣治、鳥海青児…	3
(3) 企画展 原良介展	6
(4) 企画展 没後 35 周年 北澤映月展	8
(5) 特集展 新収蔵品展 国立劇場の名品	9

Ⅲ 教育普及

(1) 令和7年度実施プログラム	1 0
(2) スクールプログラム	1 0
(3) 対話による美術鑑賞事業・ボランティア育成	1 1
(4) アートカードの貸出	1 1

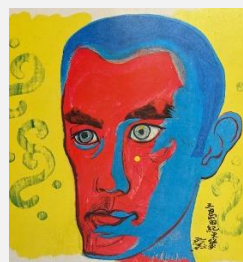
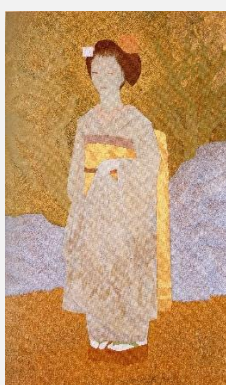
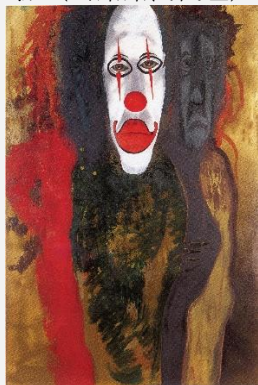
Ⅳ その他の事業

(1) 事業	1 2
(2) 団体向け研修・体験プログラム	1 2
(3) 博物館実習生及び職場体験	1 2
(4) 定例会議	1 2
(5) 所蔵作品データベースの公開	1 2
(6) 紀要の発行	1 2

Ⅱ 展覧会

(1) 企画展 生誕 100 年 中村正義 —その熱と渦—

種 別	企画展
会 期	4 月 12 日 (土) ～5 月 18 日 (日)
主 催	平塚市美術館・東京新聞
協 力	中村正義の美術館
協 賛	神奈川中央交通株式会社
開館時間	9:30～17:00 (入場は 16:30 まで)
休 館 日	月曜日 (5 月 5 日は開館)、5 月 7 日 (水)
観 覧 料	一般 1000 円、高大生 500 円
開催日数	32 日
担 当	勝山滋 (当館館長代理)



中村正義「ピエロ」1975 年、「舞妓」1958 年、「三島由紀夫(『20 世紀』表紙原画)」1968 年

●内容

日本画壇の風雲児と呼ばれ、日本画の革新を志し、その枠を超えた幅広い活躍で知られた中村正義 (なかむらまさよし、1924—1977)。

中村正義は愛知県豊橋市生まれ。戦後 1946 年には中村岳陵に師事し日展の画家として前途を嘱望される一方、1961 年には日展を脱退し、川崎市細山に転居。以後 1977 年に 52 歳で没するまでの 16 年間に川崎に住みました。

60 年代以降の社会的な激動のなかで現代人の感覚と乖離し旧態依然とした日本画壇に抗し、日本画の概念をくつがえすような前衛的な画風を展開した特異な画家とみなされてきた一方、同時代の作家たちとも深く関わり、評論家針生一郎とともに立ち上げた「日本画研究会」、異色の美術グループ「人人会」の創立、多様なジャンルの表現者を取り込んだ芸術祭「東京展」の構想へと至るとともに、病没した三上誠の回顧展の開催や若い画家たちへの支援を行うなど、ジャンルや世代を超えて「つながる」ことを重視した作家でした。自身も道半ばの 52 歳で病没しましたが、その短い生涯はさまざまな人間に影響を及ぼすとともに、そうした交流によって正義の実に多様な画業の変遷が生み出されました。

本展では正義の代表作を中心に構成するほか、こうした深い交友関係にも着目し、関連作家の作品もあわせて紹介し、映画や舞台美術、住宅デザインや写楽研究などの多様な活動にも焦点をあてることで、あらためて正義の実像に迫ります。

●関連事業

○ギャラリートーク

講師：内田あぐり (日本画家) × 勝山滋 (当館館長代理)

日時：4 月 19 日 (土) 14:00～15:00

場所：展示室Ⅱ ※申込不要、要観覧券

○学芸員によるギャラリートーク

日時：5月6日(火・祝)14:00～14:40

場所：展示室Ⅱ ※申込不要、要観覧券

○ドキュメンタリー映画「父をめぐる旅」

日時：展覧会会期中 10時～ 14時～

上映時間：102分

場所：ミュージアムホール

(2) 特集展 よみがえる絵画 修復された川村清雄、藤田嗣治、鳥海青児…

種 別	特集展
会 期	4月12日(土)～9月7日(日) 前期：4/12(土)～6/15(日) 後期：6/21(土)～9/7(日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00 (入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日(5月5日、7月21日、8月12日は開館)、5月7日(水)、7月22日(火)、8月12日(火)※6/17(火)～20(金)は展示替えのため休室
観 覧 料	一般200円、高大生100円
開催日数	124日
担 当	安部沙耶香(当館学芸員)



川村清雄《滝》年、1926-34年頃
いずれも当館蔵



井上三綱《昼》1938年



鳥海青児《石だたみ(印度ベナレス)》1962年

●内容

平塚市美術館では「よみがえる絵画 修復された川村清雄、藤田嗣治、鳥海青児…」を開催します。

美術館というと展覧会やワークショップなどに注目が集まりがちですが、来館された方々が目にするものではない重要な仕事もあります。それは、美術作品が現状以上に劣化することを防ぎ、できるだけ良い状態で保管していくことです。そのため美術館では作品を温湿度が一定な収蔵庫に保管し、展示をする際にも温湿度や照度などを調整し、適切な環境を維持しています。状態の良くないものや経年により損傷が進行している作品については、作品の材質技法やコンディションに応じて、館内で協議したうえで修復家に相談・依頼し、修復を行います。修復過程で得られた技術的な知見や科学的なデータは作品解釈の重要な要素となるため、作品とともに修復報告書も保管しています。

本展は、当館で修復をしたさまざまな絵画作品を修復過程の分かる資料とともにご紹介するものです。修復をして美しくよみがえった絵画をお楽しみいただくとともに、美術館の裏側ともいえる保存管理・修復の役割について、みなさまに知っていただく機会となると幸いです。

また、本展は前期後期に分けての展示となります。出品作品は同じですが、後期は親子で楽しむことができるようなスペースの設置やイベントを実施します。

●関連事業

【前期】

○担当学芸員によるギャラリートーク

日時：①5月17日(土) ②5月31日(土) 各日14:00～14:40

場所：展示室Ⅱ ※申込不要、要観覧券

○ワークショップ

講師：アイケイ横浜美術修復工房

日時：4月26日（土）

場所：アトリエB

対象：中学生～一般

※事前申込制

【後期】（予定）

○担当学芸員によるギャラリートーク

会期中2回程度

○ワークショップ「みんなの牧場をつくろう！！」（仮）

井上三綱のように有色下地に白色や黒色の画材を使って牛や馬を描いて、大きな牧場に貼り付けます。

講師：山内若菜（日本画家）

日時：6月21日（土）①10:00～11:00、②13:00～14:00

対象：小・中学生 各回18名

材料費：300円

場所：展示室I

○ぬいぐるみお泊り会

大切にしているぬいぐるみに、美術館に泊まってもらい、展覧会を鑑賞し、館で過ごしてもらうことで、こどもたちに美術館を疑似的に楽しみ、美術館やアートに親しみをもってもらいます。ぬいぐるみたちが美術館で過ごす様子を撮影してお渡しします。

ぬいぐるみ宿泊日程：未定

対象：0才～中学生

場所：展示室I

※事前申込制

○バックヤードツアー

講師：当館学芸員

日時：7月26日（土）

対象：小学生4～6年生

参加費：無料

場所：展示室I

※事前申込制

○ミニワークショップ「みんなの牧場をつくろう！！」（仮）

日時：展覧会会期中の9:30～16:30

対象：どなたでも参加できます

定員・参加費：なし

場所：展示室I

※申込不要・要観覧券

○お気に入りの作品を選ぼう！！

展覧会を見たのち一番興味を持った作品のパネルにシールを貼ってもらう企画です

日時：展覧会会期中の 9:30～16:30

対象：来場した 0 才から中学生

定員・参加費：なし

場所：展示室 I

※事前申込制

○絵本コーナー、ぬりえコーナー

(3) 企画展 原良介展

種 別	企画展
会 期	6月14日(土)～9月15日(日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日(ただし7月21日、8月11日は開館、翌日休館)
観 覧 料	一般900円、高大生500円
開催日数	81日
担 当	江口恒明(当館学芸員)、浅野泰恵子(当館会計年度任用職員)



《on the bank》2008年 作家蔵



《神宮の杜》2020年 作家蔵

●内容

原良介は1975年神奈川県平塚市生まれ、2002年多摩美術大学大学院在学中に第2回トーキョーワンダーウォール展にて大賞を受賞するなど早くから注目をあつめました。2009年には東京オペラシティアートギャラリーで「projectN 36 原良介」、2012年には茅ヶ崎市美術館で「原良介 絵画への小径」が開催され、その後も個展等での活動を続けています。

原の作品は油絵具による一層のみの筆致で対象を的確に捉えた、明るい色の光あふれる風景を特徴としています。活動をはじめた当初の一連の作品では、ピンホールカメラがとらえた画像のように、動くものの形があいまいになったり消えたりするさまを、鑑賞する人の視線の動きに重ねて描いています。近年では、風景を画面の中に置かれた物体のように描いたり、さらにそれを画面から取り出して立体作品に表現することもあります。いずれも、実在していても捉えられないもの、あり得たかもしれない現実に光を当てて、絵画空間を作り出す試みといえるでしょう。

さらに、描かれる風景は人と自然との接点となる身近な場面であり、それらは軽快な筆致と明るい色とあいまって作家のあたたかな眼差しを感じさせ、見る人にとってどこかで出会った風景を想起させます。

本展では、一貫して追求している光の表現を中心に、近年レジデンスやアートプロジェクトでの制作も精力的におこない、多彩な広がりを見せている原良介の現在地点までを紹介します。また、平塚の子どもたちを対象に身近な自然との接点を表現するワークショップを行います。

●関連事業

○アーティストトーク

日時：未定 14:00～15:00(会期中1回)

場所：展示室Ⅱ(要観覧券)

○ワークショップ①「サギ子ってどんな子？」

日時：4月●日（●）、●日（●） 各日 10：00～15：00

対象：小学1年生～6年生、中学生～一般

内容：展示予定作品《サギ子》に登場するサギの帽子を作り、制作過程と作品を館内に展示をします。

○ワークショップ②「自分のわっかを作ろう」

日時：8月9日（土）、10日（日）、11日（月）

対象：一般 ＊1人1点作品制作を行います。

定員：72名

内容：夏のワークショップ祭り「美術館であそぼ！」内のイベント。新聞紙で輪を作り、自身の髪や服の色を取り出して輪に着色し、実際に回して遊べる作品を作ります。

(4) 企画展 没後 35 周年 北澤映月展

種 別	企画展
会 期	10 月 11 日 (土)～11 月 30 日 (日)
主 催	平塚市美術館
協 賛	神奈川中央交通株式会社
開館時間	9:30～17:00 (入場は 16:30 まで)
休 館 日	月曜日 (10 月 13 日、11 月 3 日、11 月 24 日は開館)、10 月 14 日 (火)、11 月 4 日 (火)、11 月 25 日 (火)
観 覧 料	一般 900 円、高大生 500 円
開催日数	44 日
担 当	家田奈穂 (当館学芸員)



《祇園会》1936 年 京都国立近代美術館、



《婦女曼茶羅》1955 年 株式会社祇園会館



《花》1954 年、当館蔵

●内容

北澤映月（京都生、1907-1990）は再興院展で活躍した日本画家で、1941 年には小倉遊亀に続く女性二人目の同人に推挙されました。一貫して女性像をテーマとし、はじめ性格描写に優れた群像表現を行っていましたが、戦後は現代的な女性風俗を扱いながら、西洋絵画の影響を受けて重厚な色面表現へと移行します。1970 年代以降、細川ガラシャや淀君などの歴史人物に取材して、そこに映月独自の女性観を加味した華麗かつ情感豊かな画境へと達しました。現代的で清新な作品には、装飾性と写実性がバランスよく共存し、映月が志向した健康的で知的な女性が巧みな構成や艶やかな色彩によって表されています。

本展では、近年、当館が受贈、受託された北澤映月の院展出品作をはじめとする日本画、大下図、写生、大下図や印章、書簡や写真などを交え、初期から晩年までの映月の画業を振り返ります。北澤映月没後 35 周年の節目に、回顧展としては 1992 年の追悼展以来 33 年ぶりとなる本展で、その魅力的な女性表現をお楽しみください。

●関連事業

○担当学芸員によるギャラリートーク

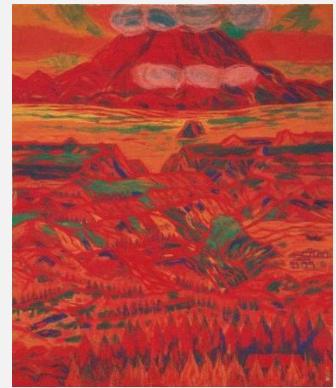
日時：未定 各日 14:00～14:40

場所：展示室Ⅱ ※申込不要、要観覧券

○関連ワークショップ

（５）特集展 新収蔵品展 国立劇場の名品

種 別	特集展
会 期	10月11日（土）～2026年2月15日（日）
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00（入場は16:30まで）
休 館 日	月曜日（10月13日、11月3日、11月24日は開館）、10月14日（火）、11月4日（火）、11月25日（火）
観 覧 料	一般200円、高大生500円
開催日数	105日
担 当	鈴木美有（当館学芸員）



左から鏑木清方《野崎村》、
森田曠平《ひらがな盛衰記（笹引の段）》、
西山英雄《朝映桜島》

●内容

1966年の開場以来、国立劇場の場内を彩ってきた作品群は、日展・院展・創画会など各美術団体の画家たちの展覧会出品作と国立劇場のために描かれた力作ばかりです。近現代の日本画の収集・展示を積極的に行っている当館では、今回の国立劇場のリニューアル工事のための閉場に伴い、これらの作品を受託しました。本展では、鏑木清方《野崎村》をはじめ、伊東深水《滝の白糸》、奥村土牛《文楽（去年の秋）》、森田曠平《ひらがな盛衰記（笹引の段）》など歌舞伎や文楽の一場面を鮮やかに絵画化した作品や、その物語を流麗な筆致で揮毫した鈴木翠軒《菅原傳授手習鑑》、桑田笹舟《千本桜道行》など、さまざまな演目や役者を主題とした作品を物語世界とあわせてご紹介します。戦後に日本画の伝統を見つめ直そうとした画家たちは、西洋絵画の表現手法を参照して新たな方向性を探ろうとし、あるいは東洋古典の新解釈を試みる動きもあるなど、意識的・造形的に様々な試行錯誤を重ねました。国立劇場の所蔵作品には、それらの傾向があらわれた作品が多く含まれています。本展では小野竹喬、中村岳陵、山口蓬春、上村松篁、西山英雄、奥田元宋、高山辰雄など、戦後にいっそう豊かな展開をみせた作品を主に展示します。これらの作品は個々の作家の回顧展で貸し出されることはあっても、まとまって場外で展示されることはなく、本展は貴重な機会となります。どうぞ、心ゆくまでご鑑賞ください。

●関連事業

○担当学芸員によるギャラリートーク

日時：未定 各日14:00～14:40

場所：展示室Ⅰ ※申込不要、要観覧券

Ⅲ 教育普及

(1) 令和7年度実施プログラム

14プログラムを実施予定

担当：江口恒明(当館学芸員)、浅野泰恵子(当館会計年度任用職員)、道下佳子(当館会計年度任用職員)、岡本牧葉(当館会計年度任用職員)

NO	講座名	講師	実施日	材料費	対象	参加者数
1	よみがえる絵画展関連ワークショップ(修復体験講座)	アイケイ横浜美術修復工房	4月26日(土)	未定	未定	未定
2	未就学児向けワークショップ	hoppe(造形教室主宰)	5月3日(土)	未定	親子(3～6歳)	未定
3	赤ちゃんアート5月	富田めぐみ※	5月	1組500円	親子(1～4歳)	15組30名
4	よみがえる絵画展関連ワークショップ(みんなの牧場をつくろう!!)	山内若菜(日本画家)	6月21日(土)	未定	小・中学生	未定
5	人物木炭デッサンを描いてみよう	東海大学教養学部芸術学科教授	6月22日(日)	無料	中学生～一般	未定
6	キッズアート7月	富田めぐみ※	7月	1組500円	親子(1～4歳)	15組30名
7	子ども向けバックヤードツアー	当館学芸員	7月26日(土)	無料	小学4年～6年生	未定
8	美術館であそぼ	hoppe(造形教室主宰)	8月9日(土)～11日(月・祝)	未定	子ども～一般	未定
9	美術館であそぼ	對木裕里(彫刻家)	8月9日(土)～11日(月・祝)	未定	子ども～一般	未定
10	美術館であそぼ(ライブペイント)	オキジュンコ(イラストレーター)	8月9日(土)～11日(月・祝)	未定	子ども～一般	未定
11	美術館であそぼ(中高生ボランティアのワークショップ)	中高生ボランティア	8月9日(土)～11日(月・祝)	無料	子ども～一般	未定
12	美術館であそぼ(おしゃべり美術館)	ひらびあーつま～れ(鑑賞ボランティア)	8月9日(土)～11日(月・祝)	無料	子ども～一般	未定
13	アートセラピー・パステルアート	福山恵美子(アートセラピスト)	8月23日(土)	1組500円	小・中学生と保護者	12組24名
14	赤ちゃんアート9月	富田めぐみ※	9月	1組500円	親子(1～4歳)	15組30名

※NP0 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事

※8番から12番までのワークショップは8月9日(土)、10日(日)、11日(月・祝)に実施予定の夏のワークショップイベント「美術館であそぼ」のプログラムです。

(2) スクールプログラム

児童・生徒向けプログラム 1プログラムを実施予定 ※依頼を受け次第実施

教員向けプログラム 2プログラムを予定 ※依頼を受け次第実施

担当：江口恒明(当館学芸員)、浅野泰恵子(当館会計年度任用職員)、道下佳子(当館会計年度任用職員)、岡本牧葉(当館会計年度任用職員)

NO	講座名	講師	実施日	対象	参加者数
6	教員向け対話による美術鑑賞体験会	当館学芸員	7月25日(金)	小・中・高・特別支援学校の教職員	未定
7	教員向け日本画実技講座	青木明日香氏(日本画家)	8月5日(火)	小・中・高・特別支援学校の教職員	未定

NO	講座名	講師	実施日	対象	参加者数
9	中高校生のワークショップボランティア	当館学芸員	7月31日(金) 8月9日(土)～11日(月・祝)	中高生	未定

(3) 対話による美術鑑賞事業・ボランティア育成

対話による美術鑑賞授業 令和7年4月に希望校を募集し依頼を受け次第実施予定

担当：江口恒明(当館学芸員)、浅野泰恵子(当館会計年度任用職員)、道下佳子(当館会計年度任用職員)、岡本牧葉(当館会計年度任用職員)

NO	学校名	準備日	学校実施日 (事前授業日)	来館授業日	学年	クラス数	参加人数
	未定						

事前授業のみの授業も実施します。授業の実施はひらびあ一つま〜れのメンバーが担当します。

● ボランティア育成のための研修等を実施します。

対話による美術鑑賞ボランティア(ひらびあ一つま〜れ)10期生の育成、及び新規加入の11期生20名程度の育成を実施予定です。また、11期生募集のための体験会、ボランティア同士の交流やミーティングを目的としたひらびcaféを実施します。

7プログラムを実施予定

NO	講座名	講師	実施日	参加人数
1	10期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	4月4日(水)	未定
2	10期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	4月19日(木)	未定
3	10期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	5月17日(土)	未定
4	アートカード研修	桑原和美(ARDA)	5月24日(土)	未定
5	10期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	6月7日(土)	未定
6	アートカード研修	桑原和美(ARDA)	6月24日(土)	未定
7	10期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	7月12日(土)	未定
8	10期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	9月13日(土)	未定

(4) アートカードの貸出

平塚市美術館を代表する所蔵作品48点のカードと遊び方の説明書を合わせたアートカードセットを、学校向け教材として無料貸出を行います。

IV その他の事業

(1) 事業

- ミュージアムコンサート

例年どおり実施する予定です。

- 第48回平塚市展

例年どおり実施する予定です。

(2) 団体向け研修・体験プログラム

要望があれば実施してまいります。

(3) 博物館実習生及び職場体験

- 博物館実習生の受け入れ

当館の活動に携わることで学芸員の職務を理解することを目的として、美術を専攻する博物館学実習生を受け入れ、6月から12月まで実習を実施する予定です。

- 中堅教諭等資質向上研修 社会体験研修の受け入れ。

要望があれば実施してまいります。

- 中学生職場体験及び高校生等の受け入れ。

要望があれば実施してまいります。

(4) 定例会議

- 美術館協議会

- ・委員任期が令和7年7月31日までであり、令和7年4月以降委員の改選手続きを進めさせていただきます。

- ・改選後、第1回協議会を令和7年8月に、第2回協議会を令和8年3月に開催する予定です。

- 美術品選定評価委員会

- ・令和7年度も例年どおり開催する予定です。

(5) 所蔵作品データベースの公開

WEB上に公開している所蔵作品のデータベースについて、今後も画像データを充実させてまいります。

日本語サイト：<https://jmapps.ne.jp/hiratukabi/>

英語サイト：https://jmapps.ne.jp/hiratukabi_en/

(6) 紀要の発行

今後も編集・発行する予定です。